

## 政策提言フォーマット

## 1 団体概要

<b>団体名</b>	<b>所在地</b>
特定非営利活動法人 ユーアイ自立支援の会	鹿児島県名瀬市長浜町14番17号
<hr/>	
<b>代 表</b>	
富山 佳郎	
<hr/>	
<b>担 当</b>	<b>連絡先 tel</b>
勝 英晴	0997-54-1800
<hr/>	
	<b>fax</b>
	0977-54-1809
<hr/>	
	<b>e-mail</b>
<hr/>	

## 団体の活動プロフィール

青島（チンタオ〔中国〕）・名瀬女性国際交流会にて「福祉と結びつくりサイクルシステム」発表  
 札幌市・サッポロビール本社にて個人レベルの奄美物産展開催  
 広島県授産振興センターにて「発泡スチロールリサイクル」発表  
 全国牛乳パックの再利用を考える連絡会・全国大会にて発表（平成11年度）  
 全国牛乳パックの再利用を考える連絡会・全国大会にて発表（平成12年度）  
 全国パック連主催「島内リサイクルを進めるシンポジウムin奄美」共催（平成13年度）  
 名瀬市共催「21世紀リサイクルイベント」主催  
 学乳パック回収率〔平成12年5月開始～平成13年5月（活動1年間にて）〕日本一達成  
 学校の総合学習等にて1年間40校と交流を行なう  
 奄美群島・鹿児島本土・宮城県・熊本県・大阪府・兵庫県・京都府・長野県にてネットワーク作り  
 鹿児島県内初の障害者団体による自治体資源ごみ収集運搬事業開始  
 循環型社会の円滑な物流確保に資する交通体系整備方策調査九州地域離島調査専門委員会との交流により島内リサイクル活動の調査、実践、研究、連携活動の調整中  
 平成13年6月1日NPO法人承認（障害者による環境保全活動・地域社会参加活動）

## 政策提言フォーマット

## 2 政策提言概要

<p><b>(1) テーマ</b> 障害者自立支援による島内リサイクル事業とネットワークシステム構築</p>
<p><b>(2) 政策対象分野</b> 障害者自立支援による環境保全活動と環境教育のNPO活動</p>
<p><b>(3) 政策手段</b> 障害者自立支援活動のリサイクル活動地域社会参加</p>
<p><b>(4) 提言概要</b>          新たな障害者（進退・知的・精神）自立支援活動提言          離島、へき地、小都市のモデル的環境・福祉・教育・産業システム提言          資源ゴミの島内リサイクルシステム構築提言          上記に関わる新しい福祉活動（高齢者・障害者・社会的弱者システム）構築提言          上記に関わる新しいネットワークシステム構築提言          上記に関わる新しい教育活動構築提言          上記に関わる新産業活動構築提言          次段階として奄美の世界遺産登録活動支援とネットワーク活動支援提言</p>
<p><b>(5) 政策の推進に当たっての検討事項</b>          国の社会福祉基礎構造改革や財政改革・規制緩和も視野に入れて目標を定める。又この対応が遅れると今後の福祉運営はできないと考えられる。          難であると指摘される島内リサイクルを現在確実に紙パック・ビンでシステム確立の可能性が生じ、更に発泡スチロール・新聞・ダンボールの実践と調査を行なっている。小規模でも確立した運営が出来ることでまわりの地域への波及効果は大であり奄美群島では新たな障害者福祉の動きが活発化しそうである。また県本土や他地域へも動き出せる状況がある。          徳之島町は、短期間（一ヶ月）で、新たな障害者団体に新しく始まる資源ゴミ（アルミ缶）収集運搬委託事業があり、半年の動きで町から作業者認可がおりる。隣の二町も障害者団体が動けば上記の場面が出来ることを公言している状況にある。          においての課題として、活動していく上で、関わる個人・団体の理解・協力が得られ一緒に活動して行く事が重要である。しかし、活動に入るまでの期間が長く思うように動けない事が多い。新しい活動なので、実証しないとまわりに認められない。またその上でも活動していく事は、個人・団体レベルで経済的な裏付けが理解してもらえないまでは動きづらそうである。          大きなテーマを多くの市民と関わる事で、上記の活動の励みと活発化に、つながる事と思います。</p>